



## 被災者の心の支えに 陸前高田市へ ボランティアを派遣

陸前高田市等復興支援実行委員会が東日本大震災被災地でのボランティアを募集したところ、市内外から23人の応募がありました。23人は、8月20日から5日間（移動日を含む）、岩手県陸前高田市で復興支援活動を行いました。なお、この活動の費用には、皆さまからいただいた「勝山市東日本大震災救援寄附金」が使われました。今回は、そのときの活動の様子などをご報告します。

**残る津波の爪跡**

20日の早朝に行われた出発式の後、片道11時間をかけて陸前高田市に向かいました。同市では日替わりで気仙町、広田町、小友町を拠点にして、草刈りや瓦礫の撤去作業を行いました。津波によって被害を受けた田畑は広範囲にわたっており、ガラス片を含んだ瓦礫が散乱し、雑草は

### ボランティアに参加して



落合 良太さん（20）  
II郡町1II

地震直後に津波の映像をテレビで見て、ぜひボランティアに参加したいと思い、夏休みを利用して今回参加しました。

作業中に、通帳など被災者の大切なものが見つかったときには、ボランティアに参加してよかったと感じました。

**現地の様子**

市街地では、瓦礫が山のように積み上げられ、重機でその山の頂上を崩してトラックで運ぶための準備作業を進めていました。しかし、市街地から離れた場所では、今もなお多くの人の手を必要としており、ボランティアセンターでは、全国各地からやって来られたボランティアの割り振りに多忙を極めていました。そ

生い茂り、使えなくなっています。一つひとつ手作業で撤去する中で、身分証や写真などが見つかりました。

の中で、同センターの職員は「瓦礫の撤去は、重機などの機械で処理すれば時間はかかりません。しかし、ボランティア活動は被災者に心を寄せた活動であり、被災者の心の強い支えとなっています。」と話していました。

### 救援寄附金の 受付期間を延長

「勝山市東日本大震災救援寄附金」の受付期間を来年の3月末まで延長します。引き続き皆さまのご支援をお願いします。なお、8月末で約690万円の寄附があります。

### 感謝のお手紙

8月2日から5日まで、陸前高田市広田小学校の6年生6人が勝山に滞在し、地元の小学生たちと交流しました。その後、保護者から感謝のお手紙が届きましたので、ご紹介します。



このたびは、子供たちが大変お世話になり、ありがとうございました。（中略）  
私は陸前高田地域振興（株）という職場にあり、高田の振興の為に何としても存続させていかなければならない時、勝山市の方々に販売をお手伝い頂き、本当に助けられました。公私ともにこれほどまでにお世話になり、どのように恩返ししたらよいものか思索しております。一日も早く、子供たちをしっかり根の張った大木に育て上げていくと共に、成人になった時には震災以前よりも自慢できる町になるよう努力していきたいと思っております。



幼年消防隊ドリル演奏



福井市消防音楽隊パレード



勝山市消防本部  
勝山市消防署  
発足50周年記念  
行事関係



- ① 記念式典の様子
- ② 式典後に行われた防災講演会
- ③ 福井県防災ヘリによる訓練も実施



谷はやし込み行列



白山禅定道トレイルマラソン



勝山の夏を彩る「勝ち山夏物語」では、今年も様々なイベントが市内各所で繰り広げられました。



かち山ちようちん登山



かちまる市



大師山たいまつ登山



平泉寺歴史オリエンテーリング



勝山商工会議所創立60周年記念  
納涼花火大会



ふるさとの踊り大会（勝山城博物館）